

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成30年度 第6回 理事会議事録

日時：平成30年10月17日（水）19時00分～20時45分

場所：都臨技事務所

議長：原田

書記：相馬

出席：原田、小山、中村、山方、松村、三橋、宮崎、浄土、星野、宮下、工藤、中尾、櫻井、相馬、竹澤、三木、  
立花監事、安部監事、遠藤監事、役員選出委員（野口） 計 20名

欠席：杉岡、米山、鈴木

1. 議事録確認

平成30年度第5回理事会議事録

平成30年度第6回執行理事会議事録

平成30年度第7回執行理事会議事録

理事行動報告

9	月	25	日	(火)	編集委員会	山方、星野、中尾、小山
9	月	25	日	(火)	庶務部	宮崎、鈴木、相馬、三木、竹澤、宮崎
9	月	27	日	(木)	データ標準化委員会	相馬、櫻井
10	月	1	日	(月)	表彰選考委員会	竹澤
10	月	2	日	(火)	南支部幹事会	工藤、宮崎、星野、三木、宮下
10	月	3	日	(水)	執行理事会	原田、小山、中村、三橋、山方、米山、浄土、宮崎
10	月	4	日	(木)	役員選出委員会	三木
10	月	5	日	(金)	検査と健康展企画委員会	杉岡、中村、三橋、浄土、松村、三木、山方
10	月	6	日	(土)	日臨技首都圏支部内会議	原田
10	月	12	日	(金)	会計部会	浄土、宮下、工藤
10	月	12	日	(金)	地域ニューリーダー育成研修会	中村
10	月	13	日	(土)	地域ニューリーダー育成研修会	中村
10	月	15	日	(月)	STI 予防委員会	浄土、三木
10	月	16	日	(水)	支部業務連絡委員会	三橋、櫻井、工藤、宮下、相馬、杉岡

3. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

・会議開催なし

・前回の理事会で第5回学術部会の報告はあったが、議事録の提出がなかったため、本理事会で提出された議事録の確認を行う。

(2) 編集委員会

・平成30年12月号に2019年新春のつどいの告知を掲載する。

- ・シリーズ「ISO 関連」は12月号の第3回目で終了する予定であったが、平成31年3月号にも掲載し第4回とした。  
平成31年6月号のシリーズ「ISO15189 取得のその後」は東京女子医科大学東医療センターに決定した。  
平成31年9月号、12月号は「I&A」で輸血班が担当し、執筆者も決まっている。

(3) データ標準化委員会

- ・平成30年度都臨技精度管理調査参加申込数は、医療施設209施設、メーカー25施設の合計234施設であった。
- ・都臨技精度管理試料で用いる自己血採血について、日本大学病院倫理委員会で承認された。
- ・平成30年度都臨技精度管理試料の作成を10月23日(火)に文京学院大学で行う。
- ・今年度の試料発送は常温発送となるため、10月中旬に温度ロガーによる輸送テストを実施する。
- ・委員施設において精度管理試料のTSH、FT4、FT3を測定し、データの集計を行う。
- ・医療法改正にあたり参加施設の増加が見込まれる。

(4) 生涯教育制度実行委員会

生涯教育対象行事登録者数(9月)

- ・学術研究班研修会

	(行事名)		(開催日)	(点数)		(登録者数)	
1.	(一般)	スキルアップ研修会	09月02日(日)	専門	20	178	名
2.	(輸血)	第3回輸血検査研究班研修会 「こんなときどうする輸血検査トラブルシューティング」	09月12日(水)	専門	20	146	名
3.	(病理細胞診)	第4回病理細胞診検査研究班研修会 「病理検査、最近のトピックス (がんゲノム医療における病理検査の動向)」	09月19日(水)	基礎	20	108	名
4.	(血液)	第4回血液検査研究班研修会 「現場で活かせる！血液学研究会(骨髄像の見方・考え方)」	09月20日(木)	専門	20	91	名
5.	(微生物)	第5回微生物検査研究班研修会 「身に着けよう！微生物検査の基本スキル： 基礎から学ぶ感染症の遺伝子検査 あなたもできるPCR」	09月21日(金)	基礎	20	79	名
6.	(免疫血清)	第3回免疫血清検査研究班研修会 「HIV感染症の診断と治療」	09月21日(金)	専門	20	50	名
7.	(生理)	第7回生理検査研究班研修会 「頸動脈エコー検査の実際 -ブランク判読-」	09月25日(火)	専門	20	66	名
8.	(臨床化学)	第3回臨床化学検査研究班研修会 「実戦臨床化学 -脂質関連検査編-」	09月26日(水)	専門	20	43	名
9.	(公衆衛生)	第2回公衆衛生検査研修班研修会 「検査室以外で働く臨床検査技師 -内視鏡検査技師など-」	09月28日(金)	基礎	20	17	名

- ・自己申告 会場研修

	(行事名)		(開催日)	(点数)		(登録者数)	
1.	微生物学英語勉強会		09月11日(火)	基礎	10	3	名

- ・公益事業・その他 開催なし
- ・支部学術研修会 開催なし
- ・都臨技ニューリーダー育成会の企画書を提出した。平成31年1月27日(日)9:50~16:00、募集人員20名。

## 2) 学会運営部

### ・第14回東京都医学検査学会について

抄録は11月上旬に発送予定。

10月24日(水)秋葉原UDXにおいて、学会の詳細について打ち合わせを行う。

検体採取実務講習会をハンズオン形式で行う。

### ・首都圏支部・関東甲信支部医学検査学会について

ポスターの図案が決定した。A1のポスター10枚とA4のチラシ1500枚を印刷する。

学会で着用するハッピーを20枚作製した。学会終了後は各種イベントで着用する。

PRグッズとしてチロルチョコ900個を準備し、来場者に配る。

両学会で学会企画内容についてのアンケートを実施する。1500部印刷し配布の予定。

## 3) 支部運営

### (1) 支部業務連絡委員会

・東支部の江戸川区民まつりが終了した。452名の血管年齢測定を実施し、測定を待っている区民に臨床検査技師の業務について説明を行った。

・南支部主催の懇親会(BBQ)は参加予定36名であったが、台風接近のため中止とした。

・南支部では都民公開講座の準備を進めているが、当初考えていたテーマを変更し「年末年始の食事の上手なとり方」とする。

・来年度の支部学術研修会について運用方法を検討した。支部の意見として2支部合同は行わず2から3研究班合同の開催を希望する。

### (2) 教育施設連絡者会議

・会議開催なし。

## 4) 地域保健共催事業部

### (1) 地域保健共催部会

・検査と健康展について各支部から各3名、合計12名の実務員で血管年齢測定と受付業務を行う予定。

・学生対象講演会は1月26日(土)東京山手メディカルセンター4F講堂で行う。各学校にはメールで開催を通知した。

### (2) フォーラム委員会

・2019年2月16日(土)に開催される都民公開講演のチラシを、各支部のまつり等での配布をお願いしたい。

### (3) STI 予防委員会

・10月21日池袋エイズフェスに参加、12月1日は街頭活動を3名で行いティッシュを配る。

・2月23日の都民公開講座のポスターは講演1の講師が未定である。決まり次第、早期に配布したい。

## 5) 会計部

### (1) 会費収入状況

	9月30日	
	H30年度実績	前年同月実績
正会員会費納入者数	6,086名	5,804名
学生会員会費納入者数	35名	61名
賛助会員会費納入社数	68社	70社

(2) 9月の主な事業活動収支について

<収入>

- ・正会員会費収入 ￥147,000 (21名)
- ・学生会員会費収入 ￥1,000 (2名)
- ・研修等受講費 ￥922,000 (第二四半期学術、支部研修会)
- ・精度管理参加費 ￥1,130,000 (113施設)
- ・日臨技生涯教育 ￥150,000 (一般検査、生理、輸血)

<支出>

- ・第二四半期の会議費、交通費、賃借料等が主である
- ・会員証発行 ￥65,108 (70枚)
- ・初級職能開発研修会案内郵送費 ￥50,348

6) 庶務部

会員数【平成30年9月28日現在】

	平成30年度
正会員数(都臨技会費免除会員)	6,214名(53名)
賛助会員	68社
学生会員(平成30年度のみ)	35名
名誉会員	13名

(1) 庶務部報告

- ・法人登記については阿川事務所の担当者が変わったこともあり作業が遅れている。10月中の登記を考えている。
- ・天野事務員が2018年12月31日で退職するため、後任事務員2名を募集する。
- ・2018年9月25日に庶務部会を開き、鈴木理事からの引継ぎを行った。
- ・平成30年度監査日程は、中間監査2018年11月13日、期末監査2019年4月9日(予定)。
- ・平成30年度第2回代議員会は11月22日(木)19時より、都臨技事務所にて開催予定。
- ・2019年定時総会は2019年6月5日を第一候補日とした。議案書は5月13日発送予定。
- ・新春のつどいは相馬庶務次長が担当する。会誌12月号に案内を掲載し、12月上旬に招待状を発送する。
- ・事務所の鍵の番号とセキュリティーカード番号をリスト化し保存する。
- ・規定類のファイルの整理を相馬庶務次長が中心に行い、分類後、各部局に確認を依頼し改定を推進する。
- ・会員証の発行はトップン・フォームズ株式会社に依頼しているが、本年10月で契約が切れる。トップン・フォームズ株式会社と都臨技が直接取引できないことや、データの加工が必要であることから、他社との契約も視野に入れ、数社から見積もりを取ったうえで次期の契約を結びたい。
- ・監事から会員証に名誉会員や永年会員の記載ができないものかとの意見が出された。庶務部で検討することにした。

(2) 選挙管理委員会

- ・会議開催なし。

(3) 役員選出委員会

- ・役員候補者選出規程と役員選出委員会規程は別々に審議している。
- ・役員候補者選出規程はほぼ出来上がっており、各委員に書面を渡し確認する段階に入っている。11月に改定を完了する予定。
- ・役員選出委員会規程は11月以降から審議し、今年度中に改定を完了する予定。
- ・監事から理事の欠員分の補充について質問が出た。補充するのであれば理事会から役員選出委員会に申請し、総会での承認が必要である。このプロセスを役員選出規程に明記する必要がある。

## 7) 事務局

### (1) 事務局報告

- ・9月の事務業務内容の報告がなされた。
- ・東京都福祉保健局から第17回東京都輸血療法研究会の開催についての通知があった。
- ・日本臨床衛生検査技師会から平成30年度災害派遣技師研修会についての依頼が来ている。
- ・日本臨床衛生検査技師会から災害時連絡責任者を各都道府県から1名あげるようにとの依頼があった。東京臨床検査技師会からは小山理事を推薦する。

### (2) 表彰選考委員会

- ・結核研究奨励賞は、候補者が条件に見合わず見送りとなった。今後も候補者選出について検討を継続していく。
- ・永年会員について、対象者58名に調査葉書を送付し、37名から返信があった。
- ・永年幹事表彰について、対象者26名に通知文を送る予定。
- ・名誉会員表彰は対象者1名が要件を満たしており、名誉会員選出についての報告があった。理事会にて審議し承認が得られたので会長名で通知をする。
- ・小島三郎記念技術賞の推薦候補者が決定し書類作成を依頼した。その他、各賞については候補者を選出中である。
- ・永年会員の記念品はロールパンケース、永年幹事表彰の記念品はボールペンとした。
- ・保健文化賞は東京都臨床検査技師会を団体としての受賞を検討する。

## 8) その他

### (1) 地域ニューリーダー育成研修会

中村理事から参加報告書が提出された。JAMT MAGAZINEに中村理事の報告内容が掲載される予定で、都臨技会員の情報共有を目的として東京都医学検査への投稿もお願いしたい。

## 9) 会長報告

- ・10月6日首都圏支部内連絡会議が都臨技事務所で開かれた。各支部長、支部幹事、支部理事、学術研究班部門長が出席した。内容は支部運営に関して、支部研修会の進め方について討議した。
- ・検体採取講習会について、東京会場10月3回分について参加人数が募集人数を大幅に下回っていることから中止となった。開催最終年となる来年度は全国で5000名程度の受講対象者がいると考えられるが、東京会場での開催は、適切な募集人数と日程についても他団体等の学会と重ならない様に調整し講習会を開催する。
- ・連盟会員について東京都の加入者数目標は800人、それに対して現在の加入者数は18名(40口)。連盟加入を促していく必要がある。
- ・来年の診療報酬改定に伴い、微生物学的検査における調査依頼が来っており都内の2施設において調査を実施する。
- ・検査技師の不祥事が報告されている。

## 2. 審議事項

- (1) メディカルオンラインに掲載する件について承認された。
- (2) 南支部から幹事1名の推薦書が提出され承認された。
- (3) 9月19日から10月16日までの新入会者17名について承認された。


平成30年10月24日(水)

公益社団法人 東京都臨床検査技師会  
議事録作成 相馬 史


議長  
(原田)

原田典明 

監事  
(立花)

立花勇一 

監事  
(安部)

安部信行 

監事  
(遠藤)

遠藤盛人 